

コ ロナによる非常事態宣言も終わりを告げ、ここ2、3週間は外食の機会が増えました。しかし、せっかくの外食にもかかわらず、どうも上手くいかないことが多いです。

最初はハンバーグ屋。グルメサイトで星3つ以上がつけられていたのですが、食べてみたところ、味付けが中の方に染み込んでおらず、期待した割に微妙でした。別の日では、ホルモンがおいしいと書込みのあったお店にホルモンを食べに行ったのですが、何とメニューにホルモンが無い。食事自体は悪く無かったのですが、あの書き込みは何だったのか。そして昨日食べたラーメン屋では、食券を買って提出したにもかかわらず、店主が「お客さん何を頼んだんでしたっけ？」どうやら作り始める前に食券を捨てて、忘れてしまったようです。そこで注文を告げて、しばらく待つと出てきたのは注文とは別物。さらに、某牛丼チェーン店。注文してからカウンターに座っていてふと周りを見ると、何十匹もの羽蟻が飛び交っていました。そのため食事が出てからは、蟻を必死に振り払いながら、食べる羽目に。結局2匹皿に入り込まれたものの、何とかそれを避けながら食べ終えて出ようとする、出口のガラス扉には大量の羽虫が群がっていました。なぜ入る時気付かなかったのだろうと自分を呪いつつ、無理やり飛び出たところ、数匹が服につき、しばらく手で振り落とさなければなりません。

不連続きでしたが、回避できるお店もあったはず

で、もう少し気を付けるべきだったと猛省しています。(S.S)

二 浦半島で6月初旬に謎の異臭騒ぎが発生しました。ゴムが燃えたようだとか、化学薬品のようだ、ニンニク臭のようだなど、200件を超える通報が消防に入ったそうです。その後、房総半島では南部を震源とするM4.2の地震が発生。三浦半島の異臭に続く房総半島の揺れについて、まさに相模トラフが活発になっているからではないかとの指摘がなされています。あの関東大震災の震源地ともかなり関連があるため、近いうちに首都直下型の巨大地震が発生するのではという恐ろしい予測付きです。

やっとな新型コロナウィルスの影響が落ち着いてきた矢先に、もし首都直下型巨大地震が発災したら、日本の首都機能は崩壊してしまうのではないかと不安でいっぱいです。多くの避難者がひしめく避難所で、いったん収まったコロナの感染拡大が一気に広がってしまう。

いろいろな自然災害が想定される中、われわれ一般市民としても災害から身を守るための自衛策を講じていかなければならないのかもしれない。まずは防災グッズや非常食の備蓄、有事の際の行動指針や安否確認方法を家族同士で申し合わせたり、もちろん家庭内だけでなく勤め先の事業継続を実現するための対策も講じたいものです。(Y.H)

**こんな時が危ない!**

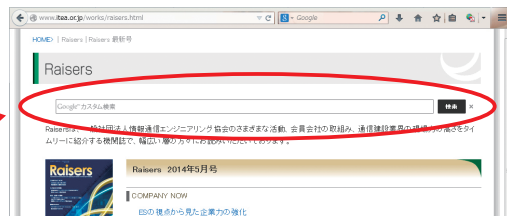
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第68巻第4号(通巻第743号) 2020年7月5日印刷 2020年7月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

